

三豊総合病院だより

Mitoyo General Hospital

発行●三豊総合病院

発行人●白川 和豊

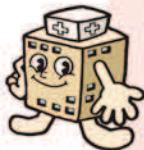
2012

53

KOKORO



『新しい研修医の先生方を迎えて』



臨床研修委員長
泌尿器科主任部長 山田 大介

今年は寒い冬でしたが、桜の開花とともに当院も初々しい初期臨床研修医の先生方を新たに迎えることができました（この記事が載るころにはもう初夏の日差しがまぶしい頃となっているかと思いますが）。三豊総合病院の2年間の医師臨床研修プログラムに属する6名、当院の1年間の歯科医師臨床研修プログラムに属する1名に加え、香川大学医学部付属病院の協力型臨床研修病院として当院でいわゆる「たすきがけ」研修を1年間行う1名の計8名です。当院の医局も、若い先生方が多数加わり益々活気づいて来ています。

さて現在の新医師臨床研修制度についてはご存じの方も多いかと思いますが、ご存じない方もおられるかと思いますので、簡単に説明したいと思います。

第二次世界大戦後20年間ほど行われていた「インターン制度」と少し混同される方もおられるのですが、昔のインターン制度では、医学部卒業後は1年間の研修を経なければ医師国家試験が受験できないとされていたため、医学部卒業生は1年間無給でかつ医師免許が無い状況におかれ（学生でも社会人でも無いきわめて不安定な地位）、色々な矛盾点が出たため廃止となりました。インターン制度廃止後は、医学部卒業生は卒業とほぼ同時に医師国家試験を受験、それに合格すれば医師免許が交付され、一人前の医者としての資格が得られることになりました。もちろんその時点では知識、技術も不十分な状態ですので、それぞれ、大学あるいは各病院で指導医師（オーベン/Open=研修医を指導する医師、ドイツ語です）に付き、実臨床についての研修を数年間行い一人前の医者になっていくという時代がしばらく続きました。私自身もその制度で育ち今に至っている訳ですが、職人さんの徒弟制度のようなもので、



医局集合写真

50歳を過ぎた今でもオーベンには決して頭はあがらりません。この制度（濃厚な人間関係）の良い点ももちろんあった訳ですが、幾つかの問題点も徐々に出てきました。もっとも大きな問題点は、日本全体で統一された研修の基準がないため、研修病院あるいは指導医の違いで、各研修医の研修内容に差が出てしまう事が考えられます。また、医療の専門化、高度化の反面、逆に一般的な疾患、病態の経験が不十分となり、通常の疾患に対する初期診療の教育が手薄になるという事も徐々に問題となっていました。

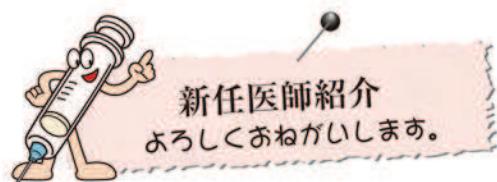


その様な問題点を解決する一つの対策として、平成16年4月から現在の新医師臨床研修制度が必修化され現在に至っています。現在の制度では、臨床診療を行う医師は、医学部を卒業し医師免許を取得（医籍に登録）後、厚生労働省により審査、認定を受けた臨床研修病院において、2年間の臨床研修プログラム（研修医が2年間に経験すべき疾患、処置等、国により定められた基準があります）を修了し、再度医籍に登録（2回目の登録）する必要があります。この2回目の医籍への登録がないと通常の診療を単独で行うことはできません。一見以前のインターン制度に近いように思われるかも知れませんが、大きく異なる点としては、初期研修医は医師免許をすでに取得していること、研修内容が全国的にほぼ統一されていること、そして生活に困らない程度の給与がもらえること（アルバイトは禁止で研修に専念）が挙げられます。

当院は、新医師臨床研修制度が始まる以前から、多くの若い先生を受け入れ、育ててきました。そして平成16年の新臨床研修制度施行後も、当初は当院での研修希望者が多く順調な滑り出しであったのですが、若い人の都会志向等もあり、徐々に当院での研修希望者が減少し一時危機的状況となりました。しかし、研修医獲得への職員一丸となった努力もあり、昨年、今年とフルマッチ（定員通りの研修医の先生を迎える）することができました。この事には、臨床研修病院としての客観的評価を、第三者機関であるNPO法人卒後臨床研修評価機構にお願いし認定を頂けた（香川県では県立中央病院と当院のみ認定を受けています）事も大きかったかと思います。研修医の先生方がいない病院には指導医もいなくなり結果として病院としての機能を失うことになります。研修医に人気のある病院は、患者様にとっても魅力のある病院であると思いますので、今後とも多くの研修希望者が集まる病院であるよう我々も努力を続けていきたいと思います。研修医を育てていくもっとも大きな力は患者様です。多くの患者様との出会いが研修医の一生のかけがえのない財産となります。何分社会人としてもまだ青葉マークですので至らぬ点も多々あるかと思いますが、地域の方々、地域の諸先生方におかれましては、何卒暖かい目で見守り応援し、そして育てていって頂ければと思います。



救急蘇生の研修

**麻酔科****黒田 浩佐** (くろだ こうすけ)

麻酔科の黒田です。手術麻酔や集中治療室での仕事を専門としています。よろしくお願ひいたします。

**内科****加地 英輔** (かじ えいすけ)

岡山大学病院から赴任してまいりました。専門分野は消化器内科、特に消化管内視鏡です。大学病院では基礎医学研究および消化管内視鏡の診断・治療に携わっておりました。大学病院で培った専門知識・技術を生かしながら広く消化器内科の診療に当たりたいと思います。信頼される医療を提供できるよう頑張っていきたいと思いますので何卒宜しく御願い致します。

**放射線診断科****黒川 浩典** (くろかわ ひろのり)

岡山県岡山市生まれ、H6年岡山大学卒業です。以前新居浜にいて、岩国、津山、三豊とまた四国にもどってきました。前任地の津山では診断とIVR（特に救急のIVR）をメインにしておりました。IVRはひと通りこなしていますので、何かお困りの症例がありましたら気軽にご相談下さい。

**放射線診断科****佐伯 基次** (さえき もとつぐ)

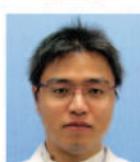
卒後12年目の画像診断医です。特にCT、MRIの読影を専門としています。画像診断にお困りの先生方へ良いアドバイスができるよう頑張っていこうと思っています。よろしくお願ひします。

**耳鼻咽喉科****秋山 貢佐** (あきやま こうすけ)

平成14年卒の秋山貢佐です。これまで主に香川大学附属病院で勤務しており、特に鼻の手術、外来、アレルギーの基礎研究などを中心に習練しております。皆様のお役に立てる様一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

**整形外科****高橋 芳徳** (たかはし よしのり)

4月より三豊総合病院で勤務させて頂きます。外傷を中心に地域の医療に貢献できたらと思います。

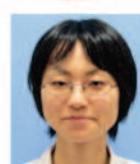
**外科****山本 澄治** (やまもと すみはる)

4月より三豊総合病院外科に赴任いたしました。一般外科から、特に消化器外科を専門に診療させて頂きます。新しい治療を取

り入れながら、手術、術後管理の質を向上し、地域の医療レベルの向上を目指して日々の診療に努めさせて頂く所存あります。よろしくお願ひします。

**内科****安原ひさ恵** (やすはら ひさえ)

4年ぶりに再び勤務させていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。

**内科****小松美智子** (こまつ みちこ)

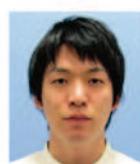
4月から勤務の小松美智子と申します。昨年度まで広島県の尾道市の因島総合病院におりました。因島は目の前に瀬戸内海をのぞむ穏やかな所でしたが、こちらは海に加えて田畠も広がり風景にまた癒されています。腎臓・代謝内分泌疾患を中心に、内科医として少しでも地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

**眼科****中野 裕貴** (なかの ゆうき)

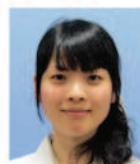
みなさんはじめまして。私は香川県高松市出身の医師で眼科医3年目です。中学・高校と陸上部で大学は硬式テニス部でした。写真撮影、ツーリングが趣味で週末にいろんな所を巡っています。まだ未熟者で覚える事・学ぶ事たくさんあると思いますが患者さんのために精一杯がんばりますのでよろしくお願ひ致します。

**内科****網岡 尚史** (あみおか なおふみ)

新任の網岡と申します。生まれは広島県、出身大学は岡山大学と香川県には縁もゆかりもございませんが、おいしいうどん屋さんがたくさんある香川県に魅力を感じて今年度から当院に希望で赴任しました。循環器領域を中心に入院診療を行ってまいります。病棟で、外来で患者様が笑顔で過ごせるような診療を行っていきたいです。どうぞ宜しくお願ひします。

**小児科****杉野 政城** (すぎの まさしろ)

初めまして。小児科後期研修医として就職しました。三豊総合病院のような綺麗な所で働けて嬉しいです。趣味はスポーツ観戦で、好きなスポーツは野球とラグビーです。ラグビーは中学、高校、大学とやってきました。大阪出身で香川には大学から来たのでもう10年近くになり、好きな食べ物はたこ焼きからうどんになりました。西の方のうどんは全然分からないので、美味しいお店があったら教えて下さい。

**小児科****中岡 祐子** (なかおか ゆうこ)

香川生まれ、香川育ちで、4月から三豊総合病院小児科で後期研修をさせていただきました中岡です。子どもたちの笑顔のために一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。

**外科****橋本 好平 (はしもと こうへい)**

卒後3年目で外科医として勤務致します橋本好平と申します。赤穂中央病院で初期研修を終えたばかりで外科医としては未熟ですが、これから修練し、少しでもこの地域に貢献できたらと考えております。何卒よろしくお願ひ致します。

**外科****山本 博之 (やまもと ひろゆき)**

香川県立中央病院での2年間の初期研修を終え、4月から三豊総合病院外科で勤務させていただることになりました山本と申します。自治医科大学出身医師として、外科のみならず地域医療にも貢献できるよう努力していきたいと思います。暖かい御指導の程お願い申し上げます。

**初期臨床研修医****新田 晃弘 (にった あきひろ)**

はじめまして。今年徳島大学を卒業し研修を始めます新田晃弘と申します。先日医師免許の申請を終え、いよいよ働き始めるのだと気持ちを新たにしております。私は三豊市で育ち卒業後は是非地元で働きたいと思っておりました。研修を通して医師として成長し、患者様に良質な医療を提供できるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

**初期臨床研修医****小池 奈央 (こいけ なお)**

はじめまして。長野県出身で、信州大学を卒業して香川県に来ました。海がこんなに近くで、離島がたくさんあって、美しい景色に感動しています。慣れないことばかりで緊張しますが、1つ1つ自分のできる事を確実にしていきたいです。香川県のこと、瀬戸内の海のこと、観音寺のことなど、何でも教えていただけるとうれしいです。少しでも地域の皆さんのお役に立てるよう、がんばります。よろしくお願ひします。

**初期臨床研修医****松三 明宏 (まつみ あきひろ)**

はじめまして。岡山から来ました松三明宏といいます。趣味はスポーツ・テレビ鑑賞などです。小学校の頃からずっとテニスをやってきました。衰えてはきましたが、まだ体力には自信があります。持ち前の明るさと体力で多くの方とコミュニケーションをとり、様々なところに目を向けていたらいいなと思っています。誠心誠意頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

**初期臨床研修医****山本 彩加 (やまもと あやか)**

4月から2年間、三豊総合病院で初期研修をさせていただく事になりました。出身が香川県なので、地元に帰ってくることができ、とても嬉しく思っています。大学生活で得た多くの

ことを生かして、研修では何事にも積極的に取り組みたいと思います。また、笑顔を絶やさずに明るく前向きにがんばります。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

**初期臨床研修医****山地 達也 (やまじ たつや)**

はじめまして。山地達也です。香川県出身で4月から三豊総合病院で研修医として勤務させていただきました。中学、高校、大学とバスケットボール部に所属していました。部活で培った体力と協調性を大切に頑張りたいと思います。まだまだ未熟ですが、一生懸命何事にも取り組んでいこうと思います。よろしくお願ひします。

**初期臨床研修医****小橋宗一郎 (こばし そういちろう)**

はじめまして。この春から三豊総合病院で初期研修医としてお世話になります、小橋宗一郎と申します。出身は岡山大学で、大学では硬式テニス部に在籍しておりました。三豊総合病院は海も近く、大変素晴らしい環境で、新生活への期待で胸がいっぱいです。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、精一杯頑張りますので、御指導の程、何卒よろしくお願ひ致します。

**初期臨床研修医****安藤 梢 (あんどう こずえ)**

高校卒業以来実家を離れて高松に住んでいましたが、26年間1度も香川から出たことのない生粋の香川人です。医師になりたいという目標と共に三豊総合病院で働くことが幼い頃からの夢でした。たくさん迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りたいと思うので、よろしくお願ひします。

**歯科臨床研修医****稻井 志織 (いない しおり)**

この春、岡山大学を卒業した川之江っ子です。太鼓台が好きで、有明浜から見る夕日が好きで、製紙工場のにおいも懐かしくて…。大好きなこの地域で歯科医師としての第一歩を踏み出せることをうれしく思っています。剣道部の根性と田舎娘の笑顔を発揮し、「三豊総合病院だからこそ得られる特別な何か」を手に入れたいと思います。よろしくお願ひいたします。



「産婦人科診療ガイドラインー産科編2011について」

産婦人科 副医長 吉田 望

2008年4月に日本での産科標準医療を記述した最初の書として「産婦人科診療ガイドラインー産科編2008」が発行されました。このガイドラインは3年毎に改訂され、今回2011年時における標準的な産科の診断および治療法が提示されました。

産科の特徴として、一見健康と思われる妊婦に、母児の生命を危うくするような合併症が妊娠週数に依存して一定の確率で起こることにあります。したがって、産科診療では全妊婦を対象として一連の適切な検査法によるスクリーニングを行い、種々の異常を発見した場合に適切に対応することが重要視されます。

2009年1月より産科医療補償制度が開始されました。産科医療補償制度とは、通常の妊娠・出産だったにもかかわらず、出産時の何らかの事故で重度の脳性麻痺児が産まれた場合、看護・介護費用を支給する保険制度です。この制度下の原因分析委員会では検査や処置の適正についての判断基準としてこのガイドラインを準用しています。また、医療問題に対する社会やマスコミの判断材料としても利用されています。

このガイドライン全容はホームページで誰でも確認することができ、医療者・患者および家族の双方の理解に役立っています。



ボランティアの方によるオカリナコンサートが開かれました。

平成24年5月29日三豊総合病院南棟1階ホールにおいてグループ・風によるオカリナコンサートが開かれました。

オカリナの歴史は遠い昔の中国、アフリカまでさかのぼります。

現在のような形になったのは17世紀後半のイタリアにおける土笛が発祥とされています。

この日は、「みかんの花咲く丘」「ゆりかごの歌」など全12曲の演奏で患者さんや御家族の方も癒されました。



～よろしくお願ひします。～

4月1日から三豊総合病院の職員として歩みはじめました。

皆様の期待に応えられるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

今年度も恒例となっています新規採用者一泊研修を、平成24年4月20日(金)～21日(土)

「かんぽの宿」において実施しました。

☆研修のねらい

- 社会人としての必要なマナー
- チーム医療

☆研修内容

- 接遇研修「医療現場に求められるこれからの接遇対応」
- 医療安全研修「危険予知訓練」「いろはかるた」
- コミュニケーションスキル研修など



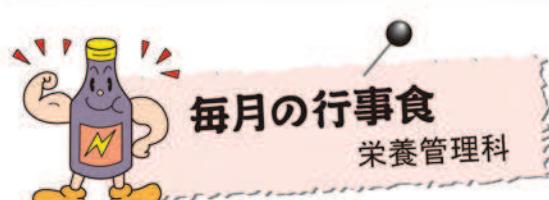
1日目、13:30開講式後、接遇研修・医療安全研修を終え歓迎会を開催。

2日目、総勢57名で早朝6:30から大興寺へ約5km 1時間少々かけてウォーキングを行いました。

天気に恵まれさわやかな気持ちでいざ出発!! 最初は足が軽かったものの、後半になると…大興寺はまだか。やっと見えた大興寺!! 到着と同時に達成感が味わえました。皆さん爽快な気分で研修に挑めたと思います。ウォーキング後、朝食を摂りコミュニケーションスキル研修を受講し12:00閉講。

☆平成24年度新規採用職員 52名

医師(初期臨床研修医)7名・歯科医師(臨床研修医)1名・看護師36名・薬剤師2名・臨床検査技師2名・臨床工学技士1名・電気主任技術者1名・介護支援専門員1名・保育士1名



4月はお花見に行った気分を味わっていただこうと、弁当箱に詰めました。春を感じていただけたらと思います。今回のレシピは魚の焼き南蛮です。魚はブリを使いましたが、季節の旬の魚で試してみてはいかがでしょうか?

魚の焼き南蛮



魚	60 g	料理味噌	13 g
酒	40cc	砂糖	4.5 g
濃い口醤油	4cc	酒	10cc
長ねぎ	30 g	酢	8cc
		唐辛子	少々

- ①魚は酒・濃い口醤油で下味を漬ける。
- ②①をオーブンかフライパンで焼く。
- ③料理味噌と砂糖・酒・酢を煮詰め、唐辛子を加えた物に②を10分ほど漬けこむ。
- ④長ねぎは焼く、又は煮付けか炒めて盛り付ける。



4月 お花見弁当

- 梅ご飯／焼き魚／菜花のからし和え／炊き合わせ(有頭えび・大根・人参・かぼちゃ)／マカロニサラダ／ラダ／いちご／四季の和菓子



5月 子供の日行事食

- 菜飯／カニクリームコロッケ／マカロニスープ／元気サラダ／柏餅